



チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	13		スペースについては、国の定める基準では児童一人当たり2.47㎡となっており、基準以上のスペースが確保されております。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	13		国の基準を満たす人員数を確保し、児童発達支援管理責任者、保育士、児童指導員、専門職などの有資格者を配置しております。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	13		事業所内には構造上取り除くことのできない段差等が存在しますが、児童が分かりやすいように目印を示し、注意喚起をするなどの工夫をおこなっております。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	13		事業所内は空気清浄機を稼働させながら、適時換気を中心感染対策に注意しております。事業所を出入りする際には手洗いを徹底し、児童にも清潔動作を促しながら日々練習をおこなっております。また、動と静のそれぞれの活動をスペースを区別し活動に応じた環境の設定をおこなっております。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	13		構造上、個別の部屋はありませんが、児童の状況に応じてパーティションを使用しながら個別空間での対応を中心掛けるなど工夫をおこなっております。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加しているか。	13		日々職員での打ち合わせをおこない、職員全員が児童一人ひとりの課題や問題点を共有、理解して目標の設定と振り返りをおこなっております。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13		毎年、年に一回以上のアンケートをともに、保護者様のご意見、ご要望の把握をおこなっております。また、いただいたご意見、ご要望においては職員全員で共通の理解のもと今後の業務改善につなげております。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13		日々の打ち合わせの中で職員からの意見を確認、共有をおこない、業務改善に努めております。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	13		現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	13		職員の資質向上を目的とした事業所内での研修を定期的におこなっております。また、本社が作成する研修動画を内社研修等もおこなっております。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	13		公式Webサイトにて公表しております。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	13		保護者様のご意向をもとに児童の様子をうかがい、児童一人ひとりの特性や課題に応じた放課後等デイサービス計画を作成しております。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	13		支援計画を作成する際には支援に関わる職員全員から対象児童の課題を聞き取り、児童に応じた計画の作成をおこなっております。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間共有され、計画に沿った支援が行われているか。	13		職員全員が児童一人ひとりの児童発達支援計画を把握したうえで、目標に合わせた課題の設定や個別・集団での療育支援をおこなっております。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	13		標準化されたツールをもとにしたアセスメントシートを使用し、児童一人ひとりの状況や課題の把握に努めております。	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	13		ガイドラインに沿ったうえで保護者様と面談を定期的におこない、ガイドラインが示す項目から児童一人ひとりに必要な項目を選択して課題克服に向けた支援内容を設定しております。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	13		個別の支援計画に沿って児童や保護者様のニーズに応じた活動がおこなえるように、職員全員でそれぞれの専門性を活かしたプログラムの立案をおこなっております。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	13		個別活動、集団活動、季節の行事などそれぞれの特色を生かした活動を取り入れながらさまざまな活動をおこなっております。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	13		児童一人ひとりの状況、発達段階に応じて個別や集団での活動を取り入れた支援計画の作成と実施をおこなっております。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	13		日々打ち合わせをおこなっており、当日の予定の確認や役割分担の確認をおこなっております。	
	21 支援終了後は、職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点を共有しているか。	13		支援終了後にはその日の振り返り、共有事項の確認をおこなっております。また、当日の共有が難しい職員は翌日か前日の振り返りもきめたいという考えをおこない、情報共有に努めております。	
	22 日々の支援に関する記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	13		利用時毎の経過記録、細かい気付きや変化などの記録をおこなっております。経過記録は継続した支援に活用し、ケース会議や支援計画の立案の際の参考資料として活用しております。	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	13		定期的(6か月以内)に必ずモニタリングを実施し、保護者様と目標の達成状況の確認と共有をおこなっております。	
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	13		放課後等デイサービスガイドラインにて示されている「自立支援と日常生活の充実のための活動」「多様な遊びや体験活動」「地域交流の活動」「こどもが主体的に参画できる活動」を組み合わせた支援をおこなっております。	
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	13		支援の中では前提として、児童がやるべきことをおこなえながら、そのほかにも興味を示したり、やってみようと思うことを取り入れながら自己決定を促す支援をおこなっております。	
関係機関や保護者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	13		担当者会議には児童の状況を最も把握している児童発達支援管理責任者とその児童の関わりが深い職員が同行し、参加しております。	
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	13		各関係機関とは積極的に報告・連絡・相談をおこないつながりながら情報共有を図り、相互理解に努めております。	
	28 学校との情報共有（年間計画、行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	13		学校との情報共有は積極的におこなっております。特に送迎時のトラブル等が発生しないよう連絡調整を心がけながら、態度確認と連絡をおこなっております。	
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	13		必要に応じて電話や訪問にて、支援内容や事業所での様子等、情報共有をおこなっております。	
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	13		必要に応じて電話や訪問にて、支援内容や事業所での様子等、情報共有をおこなっております。	
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイザーや助言や研修を受ける機会を設けているか。	13		必要に応じて電話にて情報共有、連携をおこなっております。今後も積極的に助言等いただける機会を設けていきたいと思っております。	
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもも活動する機会があるか。	13		事業所発出での交流は実施できておりませんが、放課後児童クラブに通う児童も多く、個々で地域の交流があると考えております。	今後は、保護者様のご意向に沿いながら検討してまいります。
	33 (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	13		協議会等の開催通知があった際には、児童発達支援管理責任者を中心に可能な限り参加しております。また、会議開催後は会議録や関係書類の送付をいただき、状況共有に努めております。日々の送迎の際などに児童の情報を共有することや日々の課題等においても情報共有をおこなっております。	
	34 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	13		保護者様向けの研修会は実施できておりませんが、事業所への保護者様のお悩みや相談し、児童への関わり方等についてご意見を共有しております。	
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	13		保護者様向けの研修会は実施できておりませんが、事業所への保護者様のお悩みや相談し、児童への関わり方等についてご意見を共有しております。	
保護者への説明等	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	13		事業所契約の際には運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を心がけております。また、説明の際にはご質問やご不明点がないか確認しながらおこなっております。	
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	13		支援計画を作成する際には保護者様から児童・保護者様の要望・ご意向をお聞きしたうえで目標の設定等、内容を検討しております。	
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	13		支援計画の同意を得る際には作成した支援計画を示しながら内容の説明をおこない、保護者様の同意を得ております。	
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	13		定期的に保護者様との面談の機会を設けながら子育てのお悩み等の相談を受け付けております。いただいたご相談に対しては迅速かつ丁寧に助言や支援をおこなっております。	
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設けているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	13		現時点では父母の会を開催することはしておりませんが、保護者会等の開催につきましては保護者様からのご意向に沿って検討してまいります。	
	41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	13		児童や保護者様からの相談や申入れに対しては、迅速かつ丁寧に対応できるよう努めております。	
	42 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	13		公式Webサイトに自己評価表を公開しております。また、同サイトのブログにて定期的に事業所での支援の様子を発信しております。	
	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	13		個人情報の使用や使用後の処理、保管については細心の注意を払い、鍵付きの書庫にて厳重に保管しております。	
	44 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	13		事業所全体で合理的配慮に取り組み、細やかな対応ができるように配慮しております。また、児童との意思疎通には必要に応じて絵カード等のツールを用いて児童自身の意思表示を大切にしております。	
	45 事業所の行事に地域住民が招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	13		現時点では事業所の行事に地域住民が招待する等の企画運営はおこなっておりません。	今後も必要に応じて地域住民の方々と交流機会が持てる企画運営を検討してまいります。
非常時等の対応	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	13		各種マニュアルを作成し、日頃から職員が確認できる場所に掲示し、緊急時の行動について周知徹底しております。また、年間を通して定期的に避難訓練をおこなっております。	
	47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	13		業務継続計画を策定したうえで、定期的に災害を想定した避難訓練を実施しております。	
	48 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を把握しているか。	13		事業所契約時に保護者様への確認を十分におこない、いただいた情報は職員全員で共有し把握しております。	
	49 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	13		当事業所での飲食物の提供はございません。そのうえでアレルギー等の注意が必要な情報につきましては事業所契約時に確認を徹底し、職員全員で共有と把握をおこなっております。	
	50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	13		安全計画を作成し、日頃から安全第一の業務をおこなっております。また、定期的に事業所内外の危険箇所がないか等、確認をおこないながら児童の支援をおこなっております。	
	51 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	13		災害発生時の緊急の避難場所や経路、連絡先等を保護者様へ周知しております。	
	52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	13		ヒヤリハットが発生した際には迅速に報告書を作成し、職員全員で共有したのち、再発防止に向けた検討をその都度おこなっております。	
	53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	13		虐待防止の研修、セルフチェックを定期的におこなっております。	
54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	13		原則身体拘束はございません。生命または身体の保護のためにやむを得ず必要となる場合には、事前に十分な説明をおこない、保護者様の同意を得たうえで、放課後等デイサービス計画に記載して対応してまいります。		

〇この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体でおこなった自己評価です。